



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年5月10日

上場会社名 株式会社横田製作所 上場取引所 東  
 コード番号 6248 URL http://www.aquadevice.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 義之  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務グループリーダー (氏名) 小出 寿 (TEL) 082-241-8674  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 配当支払開始予定日 2021年6月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期の業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	1,829	5.5	269	9.0	269	8.3	194	9.9
2020年3月期	1,733	△1.5	247	△6.0	249	△9.7	177	△6.3

  

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	103.90	—	8.4	9.5	14.7
2020年3月期	94.53	—	8.1	9.4	14.3

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 ー百万円

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	2,900	2,365	81.5	1,262.54
2020年3月期	2,754	2,245	81.5	1,198.63

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,365百万円 2020年3月期 2,245百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	252	△40	△74	1,420
2020年3月期	184	△47	△65	1,284

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00	74	42.3	3.4
2021年3月期	—	0.00	—	43.00	43.00	80	41.4	3.5
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	43.00	43.00		42.8	

## 3. 2022年3月期の業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,850	1.1	270	0.1	270	0.2	188	△3.4	100.36

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっておりますが、適用による影響は軽微であります。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	1,873,500 株	2020年3月期	1,873,500 株
2021年3月期	160 株	2020年3月期	115 株
2021年3月期	1,873,367 株	2020年3月期	1,873,385 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1 経営成績等の概況」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国の経済は、日銀が発表した3月の全国企業短期経済観測調査（短観）によると、米中など海外経済の持ち直しで輸出や生産活動が拡大し、企業の景況感を示す業況判断指数（DI）は、大企業製造業ではプラス5となり前回12月調査から15ポイントの改善となっております。

このような状況のもと、当社は相対的優位性のある既存領域を確保しつつ、技術開発力を高め、既存製品の改良や性能向上による差別化により新たな需要分野への展開・進出を図り、適正な人員配置と組織改革による生産性の向上とコスト削減に注力することにより採算重視の経営に努めてまいりました。

以上の結果、当事業年度の受注は、1,761,533千円（前期比7.2%減）となりました。受注が減少した主な理由は、前期はポンプ製品の大型案件の受注で受注高が一時的に増加していたためであります。売上高につきましては、1,829,186千円（同5.5%増）となりました。また、営業損益は、売上高の増加などで売上総利益が増加したことに加えて、出張の自粛による旅費及び交通費の減少などで販売費及び一般管理費が減少したため、269,799千円（同9.0%増）の営業利益となりました。経常損益は、営業利益の増加などによって、269,583千円（同8.3%増）の経常利益となりました。この結果、当事業年度の当期純利益は、194,646千円（同9.9%増）となりました。

当社は、ポンプ及びバルブの製造販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

単一セグメント内の製品別の受注及び販売の実績は、次のとおりであります。

#### [ポンプ製品]

受注は、官公需の受注、石油・化学関連企業からの受注が増加したものの、食品関連企業、鉄・非鉄関連企業、機械・電子関連企業、電力関連企業、海外企業からの受注が減少したことなどにより、755,712千円（前期比22.5%減）となりました。なお、ポンプ製品の受注が減少した主な理由は、前期は大型案件の受注で受注高が一時的に増加していたためであります。売上高につきましては、食品関連企業、鉄・非鉄関連企業、機械・電子関連企業、海外企業への売上が減少したものの、官公需の売上、電力関連企業への売上が増加したことなどにより、933,918千円（同12.1%増）となりました。

#### [バルブ製品]

受注は、機械・電子関連企業からの受注が減少したものの、官公需の受注が増加したことなどにより、315,860千円（前期比26.8%増）となりました。売上高につきましては、官公需の売上が増加したものの、機械・電子関連企業への売上が減少したことなどにより、246,275千円（同1.9%減）となりました。

#### [部品・サービス]

受注は、電力関連企業からの受注が減少したものの、官公需の受注が増加したことなどにより、689,960千円（前期比2.3%増）となりました。売上高につきましては、官公需の売上が増加したものの、電力関連企業への売上が減少したことなどにより、648,992千円（同0.1%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の資産は、前事業年度末と比較して146,346千円増加し、2,900,439千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加136,504千円、受取手形の増加12,831千円、仕掛品の減少18,591千円、機械及び装置（純額）の増加13,940千円によるものであります。

負債につきましては、前事業年度末と比較して26,002千円増加し、535,274千円となりました。これは主に、買掛金の減少11,093千円、未払金の増加45,196千円、未払法人税等の減少36,401千円、未払消費税等の増加20,389千円によるものであります。

また、純資産は、前事業年度末と比較して119,660千円増加し、2,365,165千円となりました。これは主に、当期純利益の計上194,646千円、剰余金の配当74,935千円によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末の現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末と比較して136,504千円増加し、1,420,718千円となりました。

当事業年度のキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における営業活動による資金の増加は、252,243千円（前期は184,634千円の増加）となりました。これは主に、税引前当期純利益の計上269,583千円、減価償却費の計上50,966千円、棚卸資産の減少10,948千円、仕入債務の減少11,093千円、未払金の増加20,468千円、未払消費税等の増加22,636千円、法人税等の支払114,695千円によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における投資活動による資金の減少は、40,768千円（前期は47,561千円の減少）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出250,000千円、定期預金の払戻による収入250,000千円、有形固定資産の取得による支出40,548千円によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における財務活動による資金の減少は、74,969千円（前期は65,592千円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払74,919千円によるものであります。

## (4) 今後の見通し

翌事業年度につきましては、部門間の連携を強化し、ニッチ市場での相対的優位性を更に高めることを経営戦略として掲げております。他方で、翌事業年度の経営環境は、新型コロナウイルス変異株の感染拡大による影響を受ける可能性がある一方、コロナワクチンの普及による経済活動の正常化が期待されております。

このように翌事業年度には一定の不確実性が存在しますが、以下のとおり当社の製造する製品はすべて受注生産のため当事業年度末の受注残高と翌事業年度の受注予算に基づいて、業績予想を算定いたしました。

当事業年度末の受注残高は下記のとおり前期比12.4%減となっておりますが、前期はポンプ製品の大型案件受注により受注残高が一時的に増加していたためであり、一過性の減少と考えております。また、当事業年度末の受注残高は502,118千円と一定の水準にあり、これに翌事業年度の受注予算を加味して算定した結果、翌事業年度の業績につきましては、売上高1,850百万円（当期比1.1%増）、営業利益270百万円（同0.1%増）、経常利益270百万円（同0.2%増）、当期純利益188百万円（同3.4%減）を見込んでおります。

区分	受注残高(千円)	前期比
ポンプ製品	278,582	△39.0%
バルブ製品	103,729	+204.2%
部品・サービス	119,806	+45.2%
合計	502,118	△12.4%

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の利害関係者の多くは、国内株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,534,213	1,670,718
受取手形	6,406	19,238
売掛金	340,573	332,984
商品及び製品	262	2,942
仕掛品	119,092	100,501
原材料及び貯蔵品	85,345	90,307
その他	2,254	1,606
貸倒引当金	△2,772	△2,813
流動資産合計	2,085,376	2,215,486
固定資産		
有形固定資産		
建物	239,970	244,180
減価償却累計額	△185,191	△188,701
建物(純額)	54,778	55,478
構築物	9,657	9,657
減価償却累計額	△6,945	△7,230
構築物(純額)	2,712	2,426
機械及び装置	451,474	491,712
減価償却累計額	△350,751	△377,049
機械及び装置(純額)	100,722	114,662
車両運搬具	14,482	14,482
減価償却累計額	△12,526	△13,513
車両運搬具(純額)	1,956	969
工具、器具及び備品	648,068	664,112
減価償却累計額	△632,707	△646,471
工具、器具及び備品(純額)	15,360	17,640
土地	366,082	366,082
建設仮勘定	2,970	374
有形固定資産合計	544,582	557,634
無形固定資産		
ソフトウェア	4,225	3,217
その他	614	614
無形固定資産合計	4,839	3,831
投資その他の資産		
出資金	2,015	2,015
長期前払費用	1,586	1,075
繰延税金資産	106,537	110,445
その他	9,838	9,950
投資その他の資産合計	119,977	123,487
固定資産合計	669,399	684,953
資産合計	2,754,776	2,900,439

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	52,207	41,114
未払金	150,984	196,181
未払費用	17,908	17,447
未払法人税等	70,805	34,404
未払消費税等	14,981	35,371
前受金	13,037	13,323
預り金	3,802	3,703
製品保証引当金	3,120	3,841
賞与引当金	38,356	38,354
流動負債合計	365,203	383,741
固定負債		
退職給付引当金	76,025	76,783
役員退職慰労引当金	68,043	74,749
固定負債合計	144,068	151,533
負債合計	509,272	535,274
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	130,583	130,583
資本剰余金		
資本準備金	90,583	90,583
その他資本剰余金	31,997	31,997
資本剰余金合計	122,580	122,580
利益剰余金		
利益準備金	10,000	10,000
その他利益剰余金		
別途積立金	1,677,000	1,790,000
繰越利益剰余金	305,466	312,177
利益剰余金合計	1,992,466	2,112,177
自己株式	△125	△175
株主資本合計	2,245,504	2,365,165
純資産合計	2,245,504	2,365,165
負債純資産合計	2,754,776	2,900,439

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>売上高</b>		
製品売上高	1,733,848	1,829,186
売上高合計	1,733,848	1,829,186
<b>売上原価</b>		
製品期首たな卸高	3,274	262
当期製品製造原価	913,576	1,001,570
合計	916,850	1,001,832
製品期末たな卸高	262	2,942
製品売上原価	916,588	998,890
売上総利益	817,260	830,296
<b>販売費及び一般管理費</b>		
運賃及び荷造費	23,700	23,278
役員報酬	99,371	101,671
給料及び手当	166,395	165,848
賞与	63,080	72,199
賞与引当金繰入額	18,411	18,755
退職給付費用	6,402	6,014
役員退職慰労引当金繰入額	6,677	6,706
法定福利費	45,330	46,221
旅費及び交通費	30,967	15,670
支払手数料	28,943	29,119
減価償却費	5,435	5,713
その他	75,026	69,297
販売費及び一般管理費合計	569,742	560,497
営業利益	247,517	269,799
<b>営業外収益</b>		
受取利息	275	254
受取配当金	80	80
違約金収入	99	3,290
作業くず売却益	1,603	2,549
雑収入	2,650	1,619
営業外収益合計	4,708	7,793
<b>営業外費用</b>		
売上債権売却損	1,079	721
売上割引	2,024	2,948
固定資産除却損	39	3,338
廃棄物処理費用	73	993
雑損失	—	7
営業外費用合計	3,217	8,008
経常利益	249,008	269,583
税引前当期純利益	249,008	269,583
法人税、住民税及び事業税	109,693	78,845
法人税等調整額	△37,779	△3,908
法人税等合計	71,914	74,936
当期純利益	177,094	194,646

## 製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 材料費	※	359,330	36.4	349,850	35.6
II 労務費		329,793	33.4	342,005	34.8
III 経費		299,329	30.3	291,123	29.6
当期総製造費用		988,452	100.0	982,979	100.0
期首仕掛品たな卸高		44,216		119,092	
合計		1,032,669		1,102,072	
期末仕掛品たな卸高		119,092		100,501	
当期製品製造原価		913,576		1,001,570	

(注) ※ 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
外注加工費	175,727	151,941
動力費	21,744	24,894
修繕費	11,889	13,251
減価償却費	41,574	45,252
雑費	33,938	33,271

## (原価計算の方法)

当社の原価計算の方法は個別原価計算により、一部予定原価による製品原価の計算を行っております。

なお、実際原価と予定原価の原価差額が生じますが、当該原価差額が僅少である場合を除き原価差額の調整を行い売上原価及びたな卸資産に配賦しております。

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	130,583	90,583	31,997	122,580	10,000	1,550,000	320,939	1,880,939
当期変動額								
剰余金の配当							△65,568	△65,568
別途積立金の積立						127,000	△127,000	—
当期純利益							177,094	177,094
自己株式の取得								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	127,000	△15,473	111,526
当期末残高	130,583	90,583	31,997	122,580	10,000	1,677,000	305,466	1,992,466

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△125	2,133,978	2,133,978
当期変動額			
剰余金の配当		△65,568	△65,568
別途積立金の積立		—	—
当期純利益		177,094	177,094
自己株式の取得		—	—
当期変動額合計	—	111,526	111,526
当期末残高	△125	2,245,504	2,245,504

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	130,583	90,583	31,997	122,580	10,000	1,677,000	305,466	1,992,466
当期変動額								
剰余金の配当							△74,935	△74,935
別途積立金の積立						113,000	△113,000	—
当期純利益							194,646	194,646
自己株式の取得								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	113,000	6,711	119,711
当期末残高	130,583	90,583	31,997	122,580	10,000	1,790,000	312,177	2,112,177

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△125	2,245,504	2,245,504
当期変動額			
剰余金の配当		△74,935	△74,935
別途積立金の積立		—	—
当期純利益		194,646	194,646
自己株式の取得	△50	△50	△50
当期変動額合計	△50	119,660	119,660
当期末残高	△175	2,365,165	2,365,165

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	249,008	269,583
減価償却費	47,009	50,966
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	15	41
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△2,862	721
賞与引当金の増減額 (△は減少)	116	△2
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△7,156	758
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△27,867	6,706
受取利息及び受取配当金	△355	△334
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,011	△5,242
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△85,016	10,948
仕入債務の増減額 (△は減少)	18,523	△11,093
未払金の増減額 (△は減少)	109,505	20,468
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,186	22,636
前受金の増減額 (△は減少)	5,561	286
預り金の増減額 (△は減少)	△27,999	△98
その他	△6,073	234
小計	271,586	366,581
利息及び配当金の受取額	355	357
法人税等の支払額	△87,306	△114,695
営業活動によるキャッシュ・フロー	184,634	252,243
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△250,000	△250,000
定期預金の払戻による収入	250,000	250,000
有形固定資産の取得による支出	△45,442	△40,548
無形固定資産の取得による支出	△738	—
その他	△1,380	△220
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,561	△40,768
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△50
配当金の支払額	△65,592	△74,919
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,592	△74,969
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	71,480	136,504
現金及び現金同等物の期首残高	1,212,733	1,284,213
現金及び現金同等物の期末残高	1,284,213	1,420,718

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ポンプ及びバルブの製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,198円63銭	1,262円54銭
1株当たり当期純利益	94円53銭	103円90銭
	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	2,245,504	2,365,165
普通株式に係る純資産額(千円)	2,245,504	2,365,165
普通株式の発行済株式数(株)	1,873,500	1,873,500
普通株式の自己株式数(株)	115	160
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	1,873,385	1,873,340

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
損益計算書上の当期純利益(千円)	177,094	194,646
普通株式に係る当期純利益(千円)	177,094	194,646
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	1,873,385	1,873,367

(重要な後発事象)

該当事項はありません。